

第三種郵便物認可

# 中古の太陽光 売買仲介続々

## 新設減で商機

広島企業

広島県内の企業が、中古の太陽光発電所の売買を仲介する事業を相次いで始める。売電収入で既に投資金を回収した発電所が増えており、今後、中古の売却ニーズが高まると見込む。再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度で価格が引き下げられ、太陽光発電所の新設が減る中、中古の取引に商機を見いだす。

(河野揚)

不動産仲介などのALLアセットパートナーズ(広島市中区)は11月、中古の太陽光発電所の売買を仲介するインターネットサイト「ソライチ」を設けた。中

国、関西地方の大規模太陽光発電所(メガソーラー)を中心に、常時50〜100の物件をそろえる方針だ。同社は弁護士、元証券会社社員、太陽光発電所を運



ALLアセットパートナーズが販売する安芸高田市の太陽光発電所

営する企業の社員たちが10月に設立。金融機関などの紹介で物件を集める。「既に購入の問い合わせが多く

来ている」と高田恭典取締役。初年度は30件を扱い、売上高2億5千万円を目標にする。

太陽光発電設備の施工と販売を手掛けるウエストホールディングス(西区)は来年中に、中古の太陽光発電所の売買を仲介するオークションを始める。これまでは自社で施工した物件を販売してきた。他社の物件を扱うのは初めてだ。売り主と買い主から手数料を受け取り、年約100件の仲介を目指す。同社は「太陽光発電の取引の闇口を広げたい」と狙いを説明する。今夏始めた自社の施工物件のオークションは今後も続ける。

太陽光発電所は、固定価格買い取り制度が始まった2012年から急増した。売電収入で投資金を既に回収したケースも出ており、

施設の売却を考えるオーナーが増えているという。発電所の所有者が代わっても当初の固定価格で電気を販売できる。中古売買が活発になれば、参入企業が今後増えそうだ。